

安全に生活するために

～危険から自分を守ろう～



年 組 番 名前

安全に安心して生活するために、
次のことを考えてみましょう。

チェック①

学校帰りに知らない人から声をかけられました。

知らない人に声をかけられると、どこかに連れて行かれて怖い目にあうことがあります。



Q 1 知らない人に声をかけられたらどうしよう？

- ア やさしそうな人だからついていく
- イ 何かを買ってくれそうだからついていく
- ウ 知らない人にはついていかない
- エ 困っている人に道を聞かれたら親切に教えてあげる
- オ どんな人から声をかけられても無視する

家の人との約束

チェック②

公園で遊んでいると、みんなが「もう帰ろうよ。」と言いました。

一人でいると、もしも何かがあったときに、だれも助けに来てくれません。



Q 2 一人にならないように、どんなところに気を付ける？

- ア みんなといっしょに帰る
- イ 楽しいから一人で遊ぶ
- ウ 危なくなさそうだから、一人でも遊ぶ
- エ 近所のお兄さんが近くにいるので、そのまま一人で遊ぶ
- オ 親しい友達にまだ帰らないように頼んで、二人で遊ぶ

家の人との約束

チェック③

友達に会いに外へ出かけます。



だまって出かけると家の人心配します。もし、何かあっても助けに行くことができません。

Q 3 外に出かけるときはどうしよう？

- ア 家の人に行く場所や帰る時刻を伝えてから出かける
- イ 家の人にだまって出かける
- ウ 急いでいたので何も言わずに出かける
- エ 家の人がいなかったので、メールで知らせたり、メモを置いたりして出かける

家の人との約束

自分の身を守るために

- ※家の人と約束した時刻を守って家に帰りましょう。
- ※暗くなる前に家に帰りましょう。
- ※遅い時刻に外出しないようにしましょう。

自分の身は、
自分で守ろう！

チェック④

知らない人に車から声をかけられました。

車が近付くと、中に入れられてどこかへ連れて行かれることがあります。



Q 4 車から声をかけられたらどうしよう？

- ア 車に近づいて話をする
- イ やさしそうなので、車で家まで送ってもらう
- ウ すぐに車からはなれる
- エ 何か聞かれたら車からはなれて話すようにする

家の人との約束

チェック⑤

こわい思いをしました。

みんなが気を付けていても、こわい目にあうことがあります。



Q 5 こわい思いをしたときはどうしよう？

- ア 大声でさけぶ
- イ 暗くて、静かなところへにげこむ
- ウ 近くのお店や家ににげこむ
- エ 人通りの多い方へにげる
- オ 防犯ブザーなどで危険を知らせる
- カ 友達がこわい目にあったら近くの人に知らせる

自分の身を守るために

※携帯電話やスマートフォン、インターネットなどで、自分のことや友達のことを知らせると、知らない人に様々な情報が伝わってしまうので、気を付けて使しましょう。

※住所や名前はもちろん、顔写真の公開も危険あるので気を付けましょう。

チェック⑥

知っていますか？

人通りの多い道をまっすぐ帰ろう！

何かあったら迷わず110番だよ！



Q 6 みんなを守ってくれる家や店や交番などがあります。家の近くのどこにあるか知っていますか？

- 子ども110番の家 近くの家や店
 交番 消防署 郵便局 など

Q 7 まちの中には被害にあいやすい場所があります。家の近くのどこにあるか家の人と確かめておきましょう！

- 知らない人に声をかけられやすい場所 一人ぼっちになるとこわい場所

おおだこポリスの 4つのやくそく



おうちのひとにいきます！

出かけるときは大きな声でかならず言しましょう。

おともだちとあそぼうね！

遊ぶときや学校の行き帰りはともだちといっしょです。

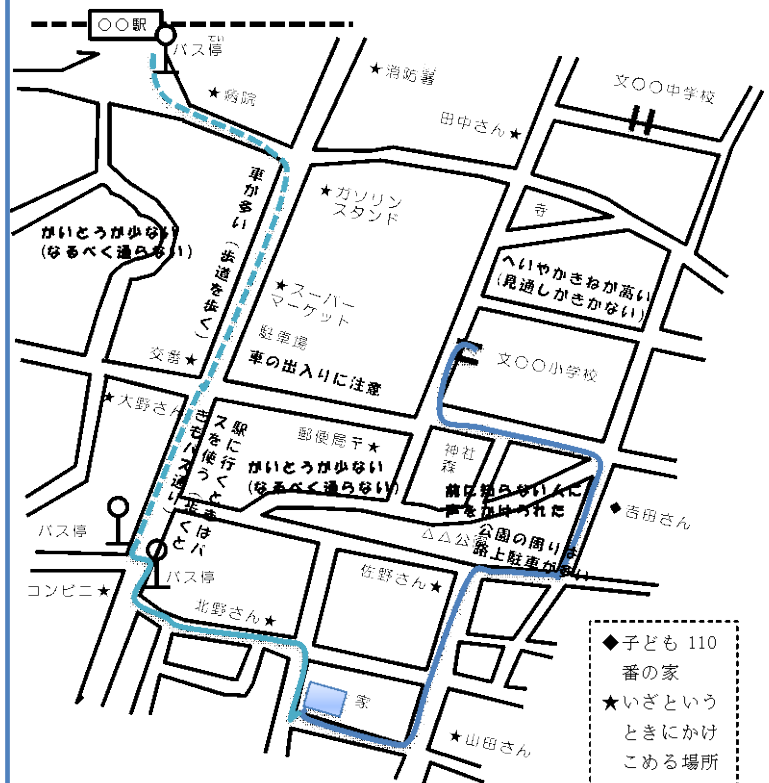
だまされてついていけない！

知っている人でもおうちのひとにたしかめましょう

こわくなったら大きな声で！

大きな声を出すことは大切です。いつも心がけましょう。

安全マップ (見本)





ぼくやわたしのやくそく



こわいとき、困ったときに知らせるところはどこ？

★★伝えるところ★★

伝える人の電話番号を書いておきましょう

- 家の人の電話 ① (- -) ② (- -)
- 家の人に伝えられないとき 「 」さん 電話 (- -)

★★伝える内容★★

<電話のかけ方や伝え方の練習>

「話し方のポイント」

- ①助けてほしいことを言ってください
- ②困っていることを言ってください
- ③こわい思いをした場所はどこですか
- ④こわい思いをしたのはいつですか
- ⑤相手の人はどんな人ですか

★★その他の伝えるところ★★

- 警察の電話 110番
- 学校の電話 (- -)

安全マップをつくろう

みんなを守ってくれる家や交番などがあります。実際に通学路を歩いて、危ない場所や「いざ」というときににげこめる場所がどこにあるか、たしかめておきましょう。

大人の方へ

子どもたちが安全に生活するために (チェックシート解説編)

～シートの学習を通して子どもたちに身に付けさせていたいただきたいこと～

チェック① 学校帰りに知らない人から声をかけられました。

いわゆる声かけ事案が発生しています。知らない人に声をかけられたときの対応について、必要な知識と行動の仕方を身に付けさせてください。

Q1 知らない人に声をかけられたらどうしよう？ 望ましい答え「ウ」(※「エ」)

※ 状況判断が大切です。相手の様子を見て、不審な動きがあれば、すぐその場から逃げるのが大切です。様々な状況と対応について、話し合いを深めてください。

チェック② 公園遊んでいると、みんなが「もう帰ろうよ。」と言いました。

一人で行動すると様々な危険なことに巻き込まれる可能性が高く、「いざ」というときに助けを呼ぶこともできません。防犯を常に意識して行動できるよう指導してください。また、様々な状況と対応の方法について話し合いを深めてください。

Q2 一人にならないように、どんなところに気を付ける？ 望ましい答え「ア」

チェック③ 友達に会いに外に出かけます。

外出時の約束について、ご家族でよく話し合い、お子様が黙ってでかけることがないように十分に指導してください。また、遅い時刻や暗くなってからの必要以外の外出は絶対に避けることをご指導ください。ご家庭の実情に応じた連絡方法を確認しておいてください。

Q3 外に出かけるときはどうしよう？ 望ましい答え「ア」(※「エ」)

※ どうしても連絡が取れない場合は、事前に連絡方法の約束をしておくのが大切です。携帯電話の有効な使い方も確認しておいてください。

チェック④ 知らない人に車から声をかけられました。

車に連れ込まれそうになる事案が発生しています。道を聞かれるなどのことがあっても、絶対に車に近づくことがないように注意することが大切です。

Q4 車から声をかけられたらどうしよう？ 望ましい答え「ウ」「エ」

チェック⑤ こわい思いをしました。

気を付けていても、こわい目にあうことがあります。危機場面での行動の仕方について普段から考えておくことが危機回避能力を高めることになります。

Q5 こわい思いをしたときはどうしよう？ 望ましい答え「ア」「ウ」「エ」「オ」「カ」

- 様々な状況と対応について話し合いを深めてください。

チェック⑥ 知っていますか？

Q6 みんなを守ってくれる家や店や交番などがあります。家の近くのどこにあるか知っていますか？

- 地域や学校などで行っている防犯活動の具体的な内容をよく知って活用することが安全確保に役立ちます。お子様といっしょに調査し、確実に把握してください。
- 近所の方で地域で活動されている方々とお子様や保護者が「知り合い」「顔見知り」になることが子どもの安全を守るために必要です。あいさつの励行なども指導してください。

Q7 まちの中には被害にあいやすい場所があります。家の近くのどこにあるか家の人と確かめておきましょう！

- 学校や地域から必要な情報を得るようにしましょう。

おおだこポリスについて

神奈川県警察では、子どもを犯罪から守る防犯標語として「おおだこポリスの4つのおやくそく」を推奨しています。各ご家庭でチェックシートを基に確認してください。
詳しくは神奈川県警ホームページ(<https://www.police.pref.kanagawa.jp/index.htm>)をご覧ください。

ほくやわたしの約束

「いざ」というとき、お子様が助けを求められることができるよう、ご家庭内で「連絡先」や「連絡方法」などを確認してください。また、協力してくれる方と話をし、依頼しておくことも重要です。

安全マップをつくろう

お子様といっしょに地域を歩き、学校などからの情報を活用して「安全マップ」づくりを進めましょう。学校への通学路や駅などへの経路、避難できる家や店などを確認しておくことも重要です。